

■しずだいで産学連携メールマガジンVol. 43

2011年7月19日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。



□ I J R C 創立 20 周年特別寄稿 -4-
—静岡大学イノベーション共同研究センター [IJRC]
(旧：地域共同研究センター)は2011年4月に20周年を迎えました—

【20周年記念式典】2011年11月25日（金）13：30～[浜松]

「共同研究センターの20周年を祝う」

20年かと、感慨深く、地域共同研究センター設立の昔を想う。当時産学住のテクノポリス構想の一環として静岡大学に地域共同研究センターが産学官連携の柱として生まれた。当時は、産学癒着なる論議も交錯した大学自治の変革の走りとも云えようか。

私はセンター設立に関わり、静大定年前の一年間のセンター長を勤めたに過ぎないが、その後の運営の歴史は、次々のセンター長、センター所員の方々、そして官機構の方々、多くの地域産業界の方々の尽力と協力によって築き上げられたものである。その20年の歴史の実績を、関わってこられた人たちと共に祝いたいと思う。

時と共に世相は変貌する。いろいろな問題が生ずることもあろうが、産業基盤豊かな浜松の地にあって、静岡大学としての産学官連携、地域との交流の歴史の更なる進展を切望して止まない。

(記：初代センター長 [H3～4] 小林純一)

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「静岡大学第22回共同研究希望テーマ説明会」を開催します
2. 「第4回制御系組込みシステムフォーラム」のご案内
3. 「サイエンスカフェin浜松」のご案内
4. 「週末パテントセミナー2011in静岡」のご案内

※問合先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は○欄に@を入れてください。

1. 「静岡大学第22回共同研究希望テーマ説明会」を開催します

日時 2011年7月26日（火）13：00～17：00

会場 静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館会議室

主催 静岡大学イノベーション共同研究センター

発表テーマ

1. 「フェムト秒パルステクノロジー」
工学部 物質工学科 准教授 杉田 篤史
2. 「プラスチック・ゴム・農産物等の硬さを
非接触非破壊で測定する計測器」
工学部 電気電子工学科 教授 犬塚 博
3. 「直流高電圧回路内で発生するアーク放電」
工学部 電気電子工学科 准教授 関川 純哉
4. 「弾性波を利用したデジタルマイクロ流体システム
—液滴の直接操作による反応検出・物質合成・創薬への応用—」
創造科学技術大学院 教授 近藤 淳

5. 「2次元アレイ構造を用いたセラミックスセンサの開発」
工学部 物質工学科 教授 脇谷 尚樹
6. 「亜臨界水を用いる廃棄物の燃料化及び排水処理技術」
創造科学技術大学院 教授 佐古 猛
工学部 物質工学科 助教 岡島 いづみ
7. 「色素増感太陽電池の実用化研究」
浜松キャンパス共同利用機器センター 准教授 村上健司
8. 「ワイヤレス電力伝送」
工学部 電気電子工学科 教授 桑原 義彦
9. 「がん治療用光増感剤の開発」
工学部 共通講座 准教授 平川 和貴
10. 「21世紀のクリーン燃料ジメチルエーテル (DME)」
工学部 共通講座 講師 武石 薫
11. 「耐圧反応容器を必要としないマイクロ・ナノバブルを利用した
次世代型気相-液相有機合成手法の開発」
工学部 物質工学科 准教授 間瀬 暢之

参加費 無料

詳細/申込

<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no84.html>

問合せ先

静岡大学イノベーション共同研究センター

TEL 053-478-1413 E-mail tane8p@cjrr.shizuoka.ac.jp

2. 「第4回制御系組込みシステムフォーラム」のご案内

日時 2011年8月3日(水) 15:00~18:00

会場 プレスタワー17F 静岡新聞ホール(浜松市中区旭町11-1)

主催 浜松市、静岡大学

プログラム

○主催者挨拶

浜松市副市長 山崎泰啓

国立大学法人静岡大学 学長 伊東幸宏

○基調講演

「モデルベースプログラミング技術の現状と今後の動向」

dSPACE Japan株式会社 代表取締役社長 有馬仁志氏

○講演

「『経営資源の強化は、自主・自立の精神で』

～商品に秘められたコンセプトはソフトウェアで価値となる!～」

財団法人浜松地域テクノポリス推進機構理事長 津田紘氏

○事例紹介

「自動車業界のモデルベース開発推進活動状況と

ヤマハ発動機における取り組み」

ヤマハ発動機株式会社 技術本部 研究開発統括部

システム技術研究部 制御グループ 主査 迫田茂穂氏

○制御系組込みシステムアーキテクト養成プログラムの紹介

※ 交流会(18:30~20:30 銀座ライオンに移動し実施いたします)

参加費 参加無料(ただし交流会費 4,000円)

詳細/申込

<http://architect.inf.shizuoka.ac.jp/event/110803.html>

問合せ先

静岡大学情報学部アーキテクト研究所

TEL 053-473-9353

E-mail architect@inf.shizuoka.ac.jp

3. 「サイエンスカフェin浜松」のご案内

大学の先生のお話を2時限と大学生サポートの放課後討論会を行います。最前線のお話をコーヒー、お菓子と一緒に楽しみましょう。お気軽にお越しください。

日時 2011年7月27日(水) 18:00~20:30
テーマ 「身近な省エネから省エネネットワークへ」
講師 工学部電気電子工学科 松尾廣伸
情報学部情報科学科 峰野博史

2011年8月31日(水) 18:00~20:30
「身近な環境・真の環境を考える」
工学部物質工学科 戸田三津夫
工学部物質工学科 松田 智

2011年9月21日(水) 18:00~20:30
「測って知ろう、人間の体」
工学部電気電子工学科 庭山雅嗣
工学部電気電子工学科 山川俊貴

会場 静岡大学高柳記念未来技術創造館(駐車場あり)
参加費 無料(申込不要)
詳細 <http://www.nvrc.rie.shizuoka.ac.jp/takayanagi/>
問合せ 静岡大学高柳記念未来技術創造館 受付
TEL 053-478-1321
E-mail sci-cafe@nvrc.rie.shizuoka.ac.jp

4. 「週末パテントセミナー2011in静岡」のご案内

■浜松会場

日時 第1回 2011年9月9日(金) 13:30~16:30
「その出願ちょっと待った!特許出願前後の注意事項」
~有効な権利取得のための前準備と事後手続き~
第2回 2011年9月16日(金) 13:30~16:30
「商品の“装いとネーミング”あれこれ」
~意匠法・商標法・不競法・種苗法にまつわる
知的財産を考える~
第3回 2011年9月30日(金) 13:30~16:30
「著作権&不競法ピンポイントセミナー」
~気を付けよう!著作物利用、
確かめよう!秘密保持契約と秘密情報管理~
第4回 2011年10月14日(金) 13:30~16:30
「知財と弁理士の仕事」
~知財のプロフェッショナル「弁理士」の
虚像と実像に迫る!~

会場 静岡大学浜松キャンパス

■静岡会場

日時 第1回 2011年10月7日(金) 13:30~16:30
第2回 2011年10月21日(金) 13:30~16:30
第3回 2011年11月4日(金) 13:30~16:30
第4回 2011年11月25日(金) 13:30~16:30
会場 静岡県立大学

対象 一般、中小企業経営者、知財関係者、学生など
定員 60名
参加費 無料
講師 日本弁理士会東海支部所属の静岡県弁理士
主催 日本弁理士会東海支部、東海 i N E T
協力 国立大学法人静岡大学、静岡県公立大学法人静岡県立大学
詳細/申込 http://www.jpaa-tokai.jp/topics/detail_200_0_1.html
問合せ先 日本弁理士会東海支部
TEL 052-211-3110 E-mail info-tokai@jpaa.or.jp

《 静大ラボ紹介 -28- 》

創造科学技術大学院 環境・エネルギーシステム専攻 鈴木款教授
<http://www.sci.shizuoka.ac.jp/~geo/staff/SuzukiYos/SuzukiYos.html>

I P C C 第 4 次 評 価 報 告 書 に お い て 、 人 為 起 源 の 顕 著 な 温 暖 化 が 起 こ っ た 可 能 性 や 気 温 上 昇 に よ る 環 境 ・ 生 態 系 へ の 影 響 が 指 摘 さ れ て い ま す 。 鈴 木 款 研 究 室 で は 、 急 激 に 増 加 し て い る サ ン ゴ の 白 化 現 象 に 関 す る 研 究 を 行 っ て い ま す (サ ン ゴ 礁 保 全 プ ロ ジ ェ ク ト) 。 白 化 現 象 と は サ ン ゴ が ス ト レ ス (高 温 、 紫 外 線 等) を 受 け て 共 生 藻 を 失 い 、 骨 格 が 透 け て 見 え る 現 象 で す 。 白 化 状 態 が 続 ぐ と 、 サ ン ゴ は 死 滅 し ま す 。 海 水 温 の 上 昇 に 伴 う サ ン ゴ 礁 の 消 失 が 懸 念 さ れ て い ま す が 、 白 化 現 象 の メ カ ニ ズ ム が 解 明 さ れ る こ と に よ り 、 世 界 中 の サ ン ゴ 礁 保 全 へ の 貢 献 が 期 待 さ れ ま す 。

【研究分野】 バイオ・ライフサイエンス

【研究キーワード】 海洋深層水、微細藻類、微生物、海草群落
ビタミンB12、アミノ酸

(記：知財コーディネーター 大西由香)

《 みんなのコラム -42- 》

【新・防災】

3月11日を境にして日本中の物事が一変しました。

一般生活においては、電気や物流などこれまで当たり前であったことのありがたさを再認識することとなり、科学者としては自分たちの知識の未熟さを突きつけられました。

「想定外」の事態が起こってしまった今、既成の概念にとらわれない防災が必要になってくるでしょう。

防災を次のステップに進めるためには、

- ・ 防災は非常に多様な分野からなるため、人員やプロジェクトが特定分野に偏りがちである。異分野との共同研究を通じてのこれまでにない視点の開拓

- ・ 理学部のようにこれまで防災研究とは無縁と思われていた分野からの潜在的な研究者の掘り起こし

- ・ 防災を「研究する」研究者と、防災を「執行する」行政、この両者の緊密な連携、相互理解

こういったことが必要になるのではないのでしょうか。

静岡大学では、大学の小ささを逆手に取り、小回りのきいた、地域のための防災を目指していきます。

(記：理学部長、防災総合センター長 増田俊明)

《 編集後記 》

今月7日、文部科学省で「リサーチ・アドミニストレーターを育成・

確保するシステムの整備」(リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備)の公募が開始されました。

大学等において、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行うことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事するURA (University Research Administrator)に関するこの施策は『知的財産推進計画2011』(2011年6月3日)にもあるように「産学連携における知財マネジメントの強化」という面でも重要です。

静大産学連携は現在、種蒔き(研究企画)から収穫(研究成果)まで研究全体を支援するためにシステムを検討中です。教員とセンターが、研究の飛躍的な推進を目指して力を合わせ、静大ブランドを高めていきたいと思っています。

* - *

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp までお願いします。(↑送付の際は○欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター (IJRC)

編集：原典子

編集責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1414

URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

* - *

Copyright (c) 2008-2011 Innovation and Joint Research Center, Shizuoka University. All rights reserved